



朝顔間①欄間 松・梅と吉鳥夫婦鶴



朝顔間①欄間 松・梅・鶴と万寿亀



朝顔間②欄間 竹と万寿亀(3匹)、その背に乗る銭亀



朝顔間②欄間 竹と万寿亀(3匹)

松竹梅・鶴亀の意味

松、竹、梅や、鶴、亀は縁起物として親しまれ、それぞれに意味があります。松は冬でも枯れず、青々とした凛々しい姿を保つ事から『長寿』の意味があります。竹は折れにくく成長が早い事から『生命力・成長』の象徴とされます。梅は苔が生える程の老木となっても、早春には他の花に先駆けて、気高い香りの美しい花を咲かせるため『気高さや長寿』を意味します。また、梅に松で商売(松梅)繁盛とする事もあります。

鶴亀は、鶴は千年、亀は万年と言われるように、仙人に使える吉鳥夫婦鶴と、海神の使者万寿亀を配した構図は『夫婦円満・長寿祈願』を表し、亀の甲羅に着く尾の様に長い藻は、長寿の象徴です。亀の子供である銭亀はその甲羅が江戸時代の小判に似ている事から『財福』を象徴し、商売繁盛の祈願にもされています。

欄間に秘められていた吉田家の「商売繁盛」の願い

朝顔の間の欄間は松竹梅・鶴亀のおめでたい欄間と言われてきましたが、よく見ると朝顔の間①の欄間には竹がありません。松梅鶴亀だけです。ところが、朝顔の間②の欄間はなぜか竹と亀だけです。おそらくこれは、①の欄間が故意に竹を抜いて松と梅で商売(松梅)繁盛を願い、②では『生命力・成長』の象徴である多くの竹に繁栄を、6匹もの亀に長寿を、銭亀には財福を願い、吉田家が長きにわたり繁栄し、商売が繁盛することへの強い思いが込められているものと思われます。